

# 平成31年度 研究授業について

研究主任 鈴木・岩井

## 1. 研究の経緯について（※別紙1）

## 2. 研究の主題と副題

協働し、生き生きと学び続ける児童・生徒の育成  
～課題解決型の学びと主体性を促す工夫を通して～

## 3. 研究の目標

各教科において、協働し、生き生きと学び続ける児童・生徒を育成するための指導の在り方を、主体性を促す工夫と課題解決型の学びの実践を通して明らかにする。

本校では、「協働する」とは、「子ども同士や子どもと教職員で、互いに協力し多角的・統合的に思考・判断しながら課題を解決しようとする姿」と考える。

また、「生き生きと学び続ける」とは、「見通しをもち、粘り強く課題に取り組む姿」や「自分の学びを振り返り、次の学びや生活に主体的に生かそうとする姿」と考え研究を進めていく。

## 4. 研究の視点

<視点1> 課題解決型の学びの工夫	<視点2> 主体性を促す工夫
(1) 自分の考えをもつ手立て	(1) 意欲関心をもち、見通しをもたせる手立て
(2) 自分の考えの根拠を明確にする手立て	(2) 学びを振り返り次の学びに生かす記録・保存
(3) 自分と友達の考えを比べる手立て	(3) 学びを支える家庭学習との関連
(4) 友達の考えに筋道立ててつなぐ手立て	(4) 学びを実生活に生かす手立てや工夫

## 5. 研究の内容と方法

### ① 児童・生徒の実態把握

「協働して学ぶ」ことに関し、日常生活、委員会、係り活動、授業の様子を観察することで、児童・生徒の実態を把握し、今後の学習指導に生かす。

### ② 学習指導案作成と一人一公開研究授業

学習指導案は別紙A4版1枚の「学習指導メモ」を基本とし、研究の視点に焦点化した指導案を作成する。

公開研究授業は、各教科、特活などの中から一つ選び、研究主題に沿った研究を行う。一年間を通し、継続して取り組める活動を検討する。（派遣最終年次に文科省に提出する現地事情調査と絡めて各自が研究推進するように配慮したい。）

### ③ 授業研究協議会の実施

教師の視点・子どもの視点・授業進行の視点に分かれて参観し、各観点からの気づきを共有する。「学習指導振り返りメモ」「授業チェックシート」を使い有効な手立てを検討する。

## 6. 研究構想図

